

みずほCustomer Desk Report 2020/06/23号(As of 2020/06/22)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	106.81 AUD/USD
TKY 9:00AM	106.84	1.1177	119.40	1.2338	0.6820
SYD-NY High	107.00	1.1270	120.44	1.2477	0.6922
SYD-NY Low	106.74	1.1168	119.31	1.2337	0.6802
NY 5:00 PM	106.91	1.1261	120.39	1.2471	0.6907
NY DOW	26,024.96	153.50	日本2年債	-0.160	0.00bp
NASDAQ	10,056.48	110.35	日本10年債	0.003	▲0.70bp
S&P	3,117.86	20.12	米国2年債	0.195	0.71bp
日経平均	22,437.27	▲41.52	米国5年債	0.339	1.44bp
TOPIX	1,579.09	▲3.71	米国10年債	0.709	1.65bp
シカゴ日経先物	22,610.00	260.00	独10年債	-0.4375	▲1.95bp
ロンドンFT	6,244.62	▲47.98	英10年債	0.1930	▲3.70bp
DAX	12,262.97	▲67.79	豪10年債	0.8700	▲0.20bp
ハンセン指数	24,511.34	▲132.55	USDJPY 1M Vol	5.65	▲0.50%
上海総合	2,965.27	▲2.36	USDJPY 3M Vol	6.36	▲0.47%
NY金	1,766.40	13.40	USDJPY 6M Vol	7.26	▲0.43%
WTI	40.73	0.90	USDJPY 1M 25RR	-1.25	Yen Call Over
CRB指数	139.05	1.08	EURJPY 3M Vol	8.45	▲0.28%
ドルインデックス	97.04	▲0.58	EURJPY 6M Vol	8.72	▲0.23%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月22日	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	5月 2.61	-10
	23:00	欧 消費者信頼感	6月 -14.7	-15
	23:00	米 中古住宅販売件数	5月 3.91m	4.09m

【本日の予定】

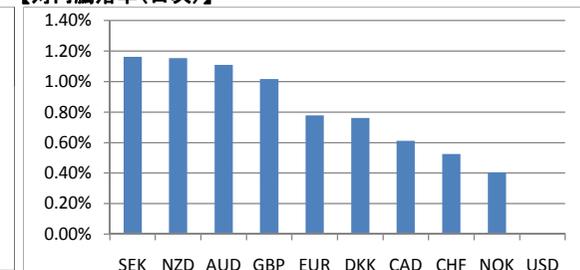
Date	Time	Event	予想	前回
6月23日	16:30	独 マークイット製造業PMI・速報	6月 42.5	36.6
	16:30	独 マークイットサービス業PMI・速報	6月 42.3	32.6
	17:30	英 マークイットサービス業PMI・速報	6月 40	29
	22:45	米 マークイット製造業PMI・速報	6月 50	39.8
	22:45	米 マークイットサービス業PMI・速報	6月 48	37.5
	23:00	米 新築住宅販売件数	5月 640k	623k

東京	東京時間のドル円は106.84レベルでオープン。材料に乏しい中、106円台後半の狭いレンジで推移。106円台では国内大手投資家の買い観測も出回っていたが、そもそもドル/円を手掛ける動きが見られず106.94-106.76での推移となった。106.91レベルで海外へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.91レベルでオープン。新規材料にかけるなか、動き乏しく推移。ロンドン朝8時付近で、ドル買いが入り一時107円付近まで上昇したが、すぐに反落。約15銭のレンジで横ばいし、106.86レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2375レベルでオープン。アジア時間で5月未ぶりに1.23台まで下落したが、ロンドン時間に入るとポンドを買い戻す展開に、一時1.2434まで上値を切り上げたが、結局1.2405レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ニューヨーク市場のドル円は106.86レベルでオープン。朝方は5月シカゴ連銀全米活動指数が発表され、予想を上回るも市場の反応は限定的だった。10時発表の米5月中古住宅販売件数は予想を下回るも、リスク材料としては受け止められず、米株が堅調に推移する中、円売りが強まる。しかし、リスクの流れを受けてユーロや豪ドル等に対するドル売りが強まったことから、方向感の無い値動きとなり、107円手前でもみ合った。午後はリスクの流れが一巡し、次なる材料待ちとなり、膠着状態が続く。終盤にかけて米テキサス州知事が「新型コロナウイルスが許容できないペースで感染拡大している」と発言するも市場は反応薄。結局、NY時間の日中値幅は16銭に留まり、106.91レベルでクロス。一方、ユーロドルは1.1214レベルでオープン。朝方はダウ平均が安寄り後にプラス圏に回復し、リスクのドル売りが先行し、1.1270まで上昇。午後はドル売りが一巡するが、米株や原油先物が高値圏で推移を続ける中、ユーロドルも1.1260近辺で底堅く推移し、結局、1.1261レベルでクロス。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 大統領選の行方

東京では7月6日の都知事選に向けて選挙活動が活発になってきている。新型コロナにより、有事の際の為政者による対応能力がよりシビアに評価されており、選挙の重要度は例年以上に高まっている。このことを考えるとやはり、11月3日に控えるアメリカ大統領選挙はこれから先の時代を占うターニングポイントとなるだろう。

コロナショックの前にはトランプ大統領の外交での強硬姿勢への評価は低くなかった。米中通商協議が関税発動を船と鞭にして、アメリカ主導で第一段階合意まで到達したことは市場でも好材料として受け止められた。しかしアメリカが世界で最も新型コロナ感染者の多い国になってしまったことや、根拠の薄い発言を繰り返すことへの批判が相次ぎ、トランプ大統領は自滅していつている。保守層が多い高齢者や白人有権者が、医療体制や失業率に不満を抱いていることでトランプ大統領の支持基盤に綻びが生じている。さらに昨今の反人種差別運動への対応も火に油を注ぎかねないものが目立ち、元々不得手にしていたマイノリティの支持獲得にも苦戦している状態となっている。これらの結果、今や民主党候補のバイデン氏に世論調査での支持率で後塵を拝することとなっている。

とはいえ大統領選選は一般的に再選を目指す現職が有利と言われており、トランプ大統領が財政出動や外交政策などのカードを切ることで支持率回復を狙うことは想像に難くない。カード次第でドル/円は年後半にかけてボラタイルな動きとなることを見込むが、足元では選挙戦の見通しが立たない不透明感からリスクオフの円買いが優勢となり、軟調に推移すると考える。(木村)

■今週のドル/円 見直し

田中	竹内	筒井	加藤	関	牛島	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
山口	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	小林
ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。